



「りんごって、昔は赤かったんだって」

この言葉が、物語の中だけであるように。

美しく、おいしいりんごがすぐ身近にある。

その幸運を、私たちは忘れがちです。

もし、りんごがない未来が来てしまったら――

ここ数年立て続けに起こっているりんごへのダメージを考えると、

それは、現実起こりうる話です。

色づきの悪さや日焼け、霜やひょうによる被害、台風がもたらした水害。

地球温暖化が引き起こす問題を食い止めていきたい。みんなで。

そんな想いが込められた、今回のキャンペーン。

賛同した皆さんから、たくさんの声も集まりました。

次は、その想いをアクションに変えていく。

「りんごと脱炭素社会 GO!ゼロカーボン!」の活動は、

まだ、始まったばかりです。

キャンペーンへのご賛同、誠にありがとうございました。

脱炭素につながる行動(ワンアクション)は2412投稿、環境に配慮して栽培したりんごは351個購入いただきました。

この二つの事業による15万5700円^{※1}に、計70件の企業・団体から支援いただいた協賛金の一部を合わせた金額を、脱炭素社会実現に向けた活動資金に充てます。その一つとして、長野県および県内企業が一体となって取り組む予定の脱炭素推進施策「わがまちカーボンクレジットNAGANO^{※2}」を通じて、長野県由来のカーボンクレジットを購入します。

詳細な活動報告は追って紙面および特設サイトでお知らせします。

今後も県民の皆さんと一体となって脱炭素社会実現に向けて推進していきますので、引き続き本キャンペーンへのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

※1 ワンアクション1投稿につき50円、りんご1個購入につき100円を寄付

※2 地域経済活性化および脱炭素推進を目的とした長野県由来のカーボンクレジット活用による地域還元型モデル

信濃毎日新聞社
りんごと脱炭素社会 GO!ゼロカーボン!キャンペーン
ringo.shinmai.co.jp



MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

より美しく、より速く。

三菱の新聞用オフセット輪転機は、
高い印刷品質と生産性で新聞製作のお手伝いをしています。



新聞に触れ合い、親しみながら、人は大人になっていく。
世界のさまざまなニュースを
美しいカラー紙面にのせて暮らしへ伝える、
報道の舞台裏で今日も私たちの技術が活躍しています。